

No	大分類	小分類	質問	回答
1	各システム	①車両動態管理システム	車両動態管理システムの製品には、配車計画システムに該当するオプション機能を付加できるものがあるが、当オプションを付加すれば配車計画システムと連携しているものと認められますか。	公募要領に定義する配車計画システムの機能を満たすものであることから、当該オプション機能の追加及び活用をする場合については配車計画システムと連携するものと認められます。
2	各システム	①車両動態管理システム	走行中に情報のデータ通信を行わず、メモリーカード等に走行記録を行うデジタルコを用いたシステムは補助の対象ですか。	補助対象外です。
3	各システム	①車両動態管理システム	車両動態管理システムの必須機能となっている「時間情報の取得」の時間情報とは何ですか。	車載器の必須機能としているGPSの基本的な機能により取得できる「時間情報」のことです。 P13表
4	各システム	①車両動態管理システム	車載器の付帯機能として申請した機器が、補助対象外となる場合がありますか。	補助対象外となる場合もあります。 申請した機器を本事業の取組のために活用しない場合、省エネに寄与した活用と判断できない場合、補助対象外となります。 P12～ 9.1) 車両動態管理システム P14 【補助対象外経費】
5	各システム	①車両動態管理システム	車載器1台あたりの購入金額よりも動態状況管理ソフトの購入金額の方が高額となることが多いですが、その場合は補助対象とならないのですか。	車載器1台の金額では無く、導入する全台数の車載器本体の合計金額と事務所用機器（ソフト以外の機器も含む）の合計金額を比較し、審査します。 P12～ 9.1) 車両動態管理システム P14 【補助対象外経費】
6	各システム	②予約受付システム等	予約受付システム等を導入後は、いつから稼働すればいいですか。	トラック事業者と荷主等との連携前の10日間以上のデータを取得してから稼働してください。 トラック事業者と荷主等との連携前のデータは、予約受付システム等の効果を受けていない状況である必要があります。 P9 b) 車両運行データの計測期間
7	各システム	②予約受付システム等	荷主等が「予約受付システム等」を申請する場合、公募要領にある「自己診断データ」をどのように取得すればいいですか。	トラック事業者と荷主等との連携を実施する車両を確保して申請する必要があります。そのうえで、自己診断データ取得をしてください。 データの詳細については、8.8.実施計画及び自己評価・データの報告をご確認ください。 P4 5. 補助対象事業者 P7 ～8. 実施計画及び自己評価・データの報告
8	各システム	②予約受付システム等	予約受付システムを導入する予定ですが、スマートフォン、タブレット端末、パソコン本体等は対象となりますか。	本事業において、スマートフォン、タブレット端末、パソコン本体等の汎用機器は補助対象外となります。 P19 9.2) 予約受付システム等 【補助対象外経費】
9	各システム	③配車計画システム	配車計画システムの補助対象はどのようなものになりますか。	以下の定義を満たす設計開発費、設備費、諸経費となります。 ・予め登録した配送情報を基に、納入先までの効率的な配送ルート等の自動作成を可能とするシステム。 P20 9.3) 配車計画システム

No	大分類	小分類	質問	回答
10	各システム	③配車計画システム	配車計画システムの補助対象事業者は、荷主等だけが対象でしょうか。	荷主等の単独での申請の他、トラック事業者も補助対象事業者として、申請が可能です。 また、荷主等とトラック事業者との共同申請が可能です。 P4 5.補助対象事業者
11	各システム	④AI・IoTによるシステム連系ツール	すでに導入した車両動態管理システムと連携する目的で、AI・IoTによるシステム連系ツールのみ導入する場合は補助対象となりますか。	補助対象とはなりません。 本事業において別途補助申請を行う車両動態管理システム、予約受付システム等及び配車計画システムのうちいずれかまたは、全部と連携させる場合のみ申請できます。 P4 5.補助対象事業者
12	各システム	④AI・IoTによるシステム連系ツール	AI・IoTによるシステム連系ツールとは、具体的にどのような条件を満たしているのですか。	主要な条件は以下の通りです。 ・AI又はIoTの技術を用いたトラック輸送に関わる情報・機材の共通化・標準化又は自動化・省人化を通じた輸送効率化のための機器又はソフトウェアとする。 ・AI（人工知能）とは、学習・予測・推論、計画・最適化などを行うコンピュータプログラムとする。 ・IoT（モノのインターネット）とは、パソコン類以外の機器をインターネットに接続することにより、遠隔地のデータの収集や分析又はコントロールを行う技術とする。 P22～ 4) AI・IoTによるシステム連系ツール